

科目コード:130027

担当教員	桶作 梢、米田昌代												
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。												
開講年次	3年次前期		単位数		1		授業形態			演習			
必修・選択	必修		時間数		30								
該当ディプロマ・ポリシー	(1)		(2)		(3)	○	(4)	◎	(5)		(6)		
Keywords	マタニティサイクル、妊婦の看護、産婦の看護、褥婦の看護、新生児の看護、看護過程の展開、家族役割、母性看護技術												
学習目的・目標	【目的】 マタニティサイクルにある母子およびその家族の特徴と健康問題を査定し、妊婦・産婦・褥婦および新生児とその家族への看護の方法について理解できる。 【目標】 1. 看護過程の展開ができる。 2. 技術演習により、母性看護の基本的看護技術を実践し、その方法について説明できる。												
授業計画・内容													
回	内容												
1	ガイダンス 妊婦の看護 ハイリスク妊婦の看護過程												
2-5	褥婦の看護 模擬事例による褥婦の看護過程の展開（経膣分娩後の褥婦、帝王切開後の褥婦）												
6-7	新生児の看護 模擬事例による新生児の看護過程の展開												
8-10	母性看護実践に必要な基本的看護技術演習 妊婦・褥婦・新生児の観察と看護に必要な技術演習												
11-13	シミュレーション 褥婦の看護、新生児の看護、母乳育児支援												
14	周産期医療システム・特殊なニーズを持つ妊産婦と家族への支援												
15	性と生殖に関する健康と権利（SRHR）												
教科書	小林 康江他編：ナースিং・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践（メディカ出版） 荒木 奈緒他編：ナースিং・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術（メディカ出版）												
参考図書等	中込 さと子他編：ナースিং・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護（メディカ出版） 森 恵美他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学2 母性看護学各論（医学書院） 新道幸恵他編：新体系看護学全書母性看護学②マタニティサイクルにおける母子の健康と看護（メディカルフレンド社） 仁志田 博司：新生児学入門（医学書院） 荒木 勤：最新産科学 正常編（文光堂） 荒木 勤：最新産科学 異常編（文光堂） 井上 裕美他編：病気がみえるvol10 産科（MEDIC MEDIA） その他：適宜提示予定												
評価指標	看護過程の展開（70％）、演習の参加態度（30％）												
関連科目	疾病障害論Ⅳ（母性）、母性看護学概論、母性看護方法論、母性看護学実習												
教員から学生へのメッセージ	妊婦・産婦・褥婦や新生児をイメージすることは難しいかもしれませんが、紙上事例を通して、家族や環境も含めて本来人間に備わっている力を上手く引き出すよりよい支援のあり方について積極的に学びましょう。												